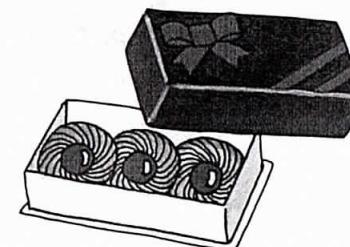


## 式についてふり返ろう

次の①、②の場面で、数量やその関係を、式に表して考えよう。

① 1枚150円のクッキー3枚を、  
100円の箱につめました。



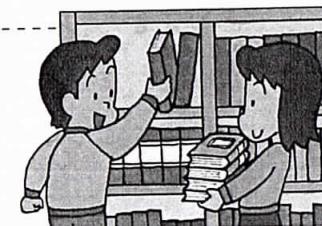
① 代金の合計を表す式を書こう。

**式**  $150 \times 3 + 100$

② 代金の合計はいくらかな。

550円

① 学級文庫に本が38冊あり、  
新しい本を何冊か買いました。  
今、本は全部で50冊になりました。



① 新しく買った本の数を□冊として、数量の関係を表す式を書こう。

**式**  $38 + \square = 50$

② □にあてはまる数はいくつかな。

$\square = 50 - 38$

今の本の数は、  
38と□の和で、  
それが50ということだね。  
 $A12\text{え}$

これまでの学習で、どんなときに式を使ってきたかな。  
話し合ってみよう。

答えの数を求めるときや、  
自分の考えをわかりやすく  
表すときに使った。

わからない数を□として表した。  
変わり方調べのときは、□や○を使って  
いろいろな数のときを1つの式に表した。

式について  
もっと学習  
したいな。

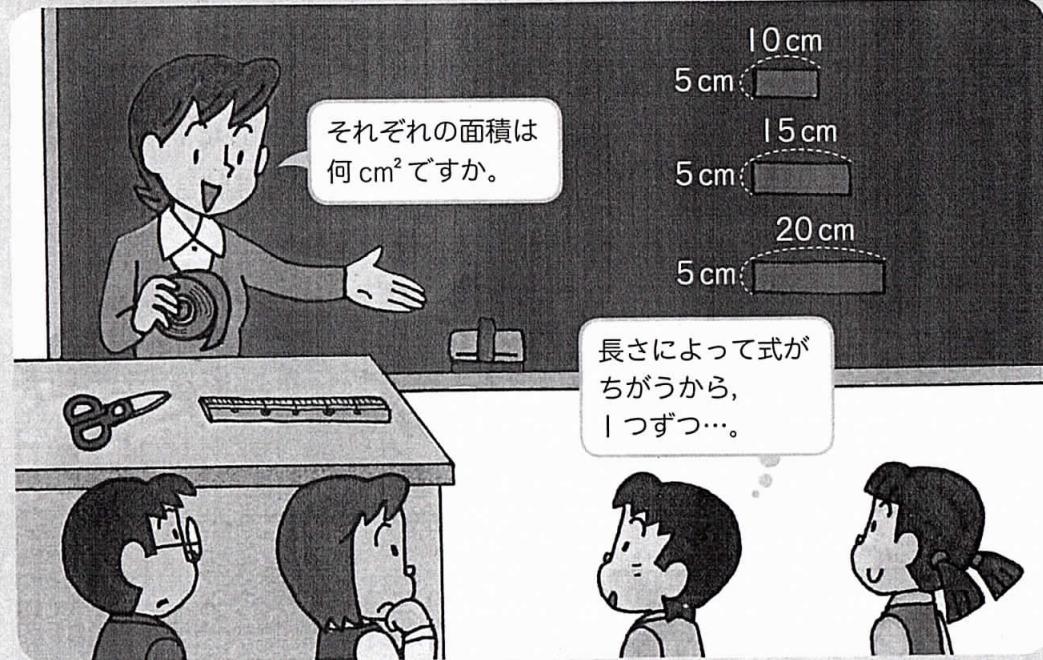


数学を感じる単元ですよ！

文字と式

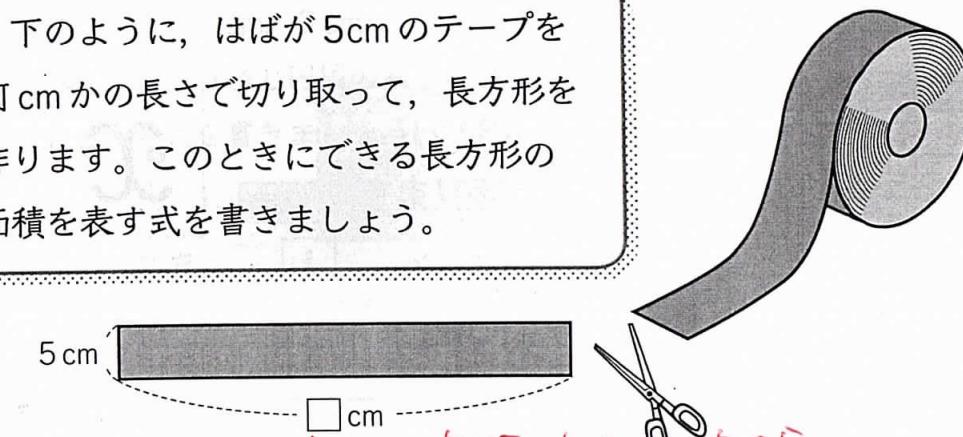
## 2 数量やその関係を式に表そう

はばが5cmのテープを、何cmかの長さで切り取ります。

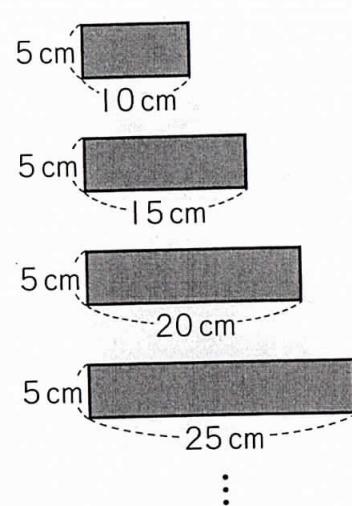


1

下のように、はばが5cmのテープを  
何cmかの長さで切り取って、長方形を作ります。このときできる長方形の  
面積を表す式を書きましょう。



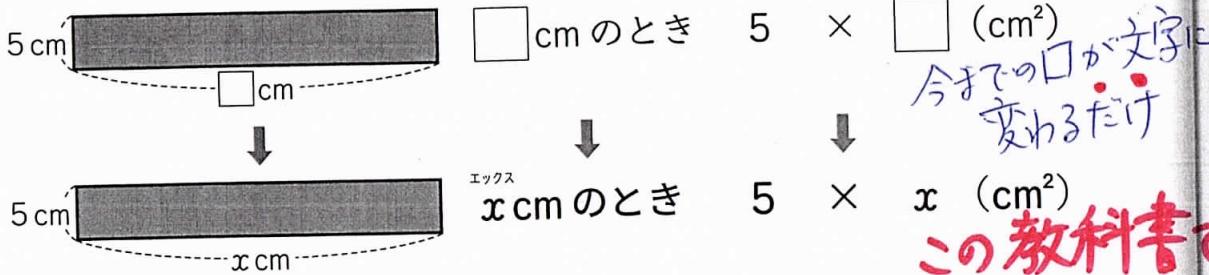
1 切り取った長さが10cm, 15cm, 20cm, 25cm, …のときの、  
長方形の面積を表す式を書きましょう。



	たて 縦の長さ	$\times$	横の長さ
10 cm のとき	5	$\times$	10 (cm <sup>2</sup> )
15 cm のとき	5	$\times$	15 (cm <sup>2</sup> )
20 cm のとき	5	$\times$	20 (cm <sup>2</sup> )
25 cm のとき	5	$\times$	25 (cm <sup>2</sup> )
⋮	⋮	⋮	

Q ② 上の式で、いつも一定で変わらない数は何ですか。  
また、いろいろと変わる数は何ですか。

いくつかの式を、1つにまとめて表す方法を調べよう。



いろいろと変わる数のかわりに、  
 $x$ などの文字を使うことがあります。

これからは、□のかわりに  
 $x$ を使っていくよ。

まとめ

いろいろと変わる数のかわりに、 $x$ などの文字を使うと、  
いくつかの式を1つの式にまとめて表すことができる。

この教科書では、  
エックスを  
こう書くように  
します。

$$5 \times 26 = 130 \quad 5 \times 27 = 135 \quad 5 \times 28 = 140$$

$$\underline{130 \text{ cm}^2} \quad \underline{135 \text{ cm}^2} \quad \underline{140 \text{ cm}^2}$$

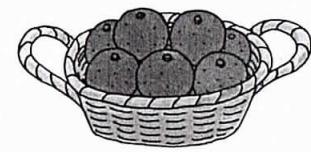
③ 横の長さが26 cm, 27 cm, 28 cmのときの長方形の面積を求めます。5× $x$ の式で、 $x$ に26, 27, 28をあてはめて計算し、長方形の面積を求めましょう。

④ 5× $x$ の式で、 $x$ が7.5のときの、長方形の面積を求めましょう。

$x$ にあてはまる数が小数のときもあるんだね。

1 ゆりさんは、プレゼント用のオレンジを買いに行きました。

- ① 1個180円のオレンジ $x$ 個を、250円のかごにつめたときの、代金の合計を式に表しましょう。
- ② ①で、オレンジを5個、12個買ったときの代金の合計を、それぞれ求めましょう。



5個  
 $180 \times 5 + 250 = 1150$  ほじゅうのもんたい  
→246ページ

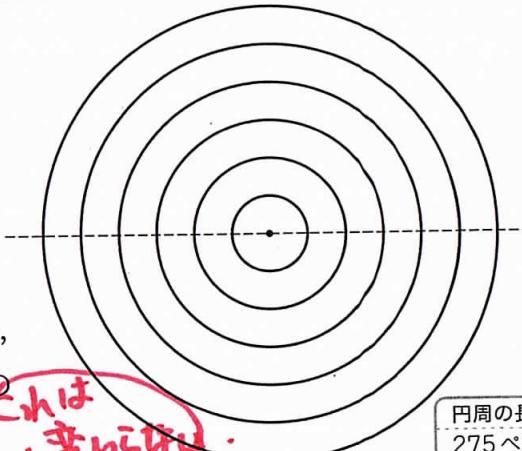
1150円

$180 \times 12 + 250 = 2410$

2410円

今日は、数量を表す式について学習したね。

2 円の直径の長さと、円周の長さの関係を表す式を書きましょう。



1 円の直径が1 cm, 2 cm, 3 cm, …のときの、直径と円周の長さの関係を表す式を書きましょう。

変える 直径の長さ × 円周率 = 円周の長さ 変える。

1 cm のとき	1	$\times 3.14 = 3.14$	(cm)
2 cm のとき	2	$\times 3.14 = 6.28$	(cm)
3 cm のとき	3	$\times 3.14 =$ ○	(cm)
⋮	⋮	⋮	⋮

数量の関係を表すいくつかの式を、1つにまとめて表す方法を調べよう。

YRのページへ。

$$\boxed{\quad} \text{cm のとき } \boxed{\quad} \times 3.14 = \bigcirc \text{ (cm)}$$

↓      ↓

$$\begin{matrix} \text{エックス} \\ x \text{ cm のとき} \end{matrix} \quad x \times 3.14 = \underline{y} \text{ (cm)}$$

**文字もちがう  
ものを使う。**

円周の長さは、  
 $x$ と3.14の積で、  
それが $y$ という  
ことだね。  
ここちゃんも書きます。

**まとめ**  
xやyなどの文字を使うと、数量の関係を  
1つの式にまとめて表すことができる。

②  $x \times 3.14 = y$  の式で、 $x$ が10, 15, 20のときの $y$ の表す数を  
求めましょう。

$10 \times 3.14$	$15 \times 3.14$	$20 \times 3.14$
= 31.4	= 47.1	= 62.8

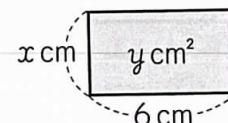
$x$ にあてはめた数10を $x$ の値といいます。そのときの  
 $y$ の表す数31.4を、 $x$ の値10に対応する $y$ の値といいます。

③  $x$ の値が2.5のとき、対応する $y$ の値を求めましょう。 $2.5 \times 3.14 = y$ 、  
 $7.85 = y$

④  $y$ の値が47.1になるときの、 $x$ の値を求めましょう。  
 $x \times 3.14 = 47.1$   $x = 47.1 \div 3.14 = 15$   $x = 15$

2 次の場面で、 $x$ と $y$ の関係を式に表しましょう。

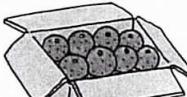
① 縦が $x$ cm、横が6cmの長方形があります。  
面積は $y$ cm<sup>2</sup>です。  $x \times 6 = y$



② 2Lのジュースのうち、 $x$ L飲みました。  
残りは $y$ Lです。  $2 - x = y$

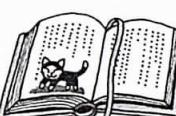


③  $x$ kgのオレンジを0.6kgの箱に入れます。  
全体の重さは $y$ kgです。  $x + 0.6 = y$



④  $x$ ページの本を10日間で読む予定です。

1日に平均 $y$ ページ読むことになります。



ほじゅうのんたい  
→247ページオ

こうた  $x \times 3.14 = y$  で、 $x$ の値が  
決まるとき、 $y$ の値も決まるね。

しほ 今日は、数量の関係を表す  
式について学習したね。

3 数量の関係が次の式で表される場面をつくりましょう。

(1)  $20 + x = y$  (2)  $20 - x = y$  (3)  $20 \times x = y$  (4)  $20 \div x = y$



どんな場面があるかな。



(1)は、20と $x$ の和が  
 $y$ になっているから…。

これまでの学習をふり返って、式に合う場面を考えよう。



こうた 20円のあめと $x$ 円の  
ジュースを買います。  
代金は $y$ 円です。



しほ 面積が $20 \text{ cm}^2$ の長方形が  
あって、縦の長さは $x$ cm  
です。横の長さは $y$ cmです。



折り紙が20枚あって、 $x$ 枚  
使います。残りは $y$ 枚です。

$$20 - x = y$$

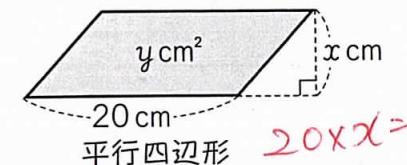


はると 20円のガムを $x$ 個買います。  
代金は $y$ 円です。



みさき 場面を図で表しました。

平行四辺形の面積の公式  
275ページ②



ほかにもできそうだね。



しほさんの場面も、  
図で表せないかな。

1 (1)の式の場面をつくったのは、だれですか。(2)~(4)の式に  
ついても考えましょう。

式から、いろいろな場面が  
考えられるね。式は「算数のことば」だね。



3 上の(1)~(4)の式の20を、ほかの数に変えて、いろいろな場面を  
つくりましょう。

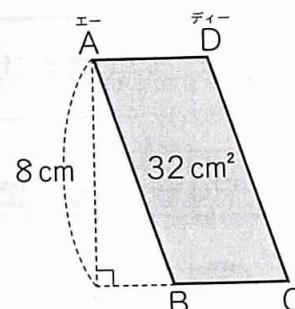
場面がつくれたら発表しよう。

はると 上の(1)~(4)以外の式からも、いろいろな  
場面をつくれそうだね。

4

右の平行四辺形で、辺BCを底辺としたとき、高さは8cmです。面積は $32\text{ cm}^2$ です。

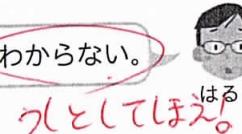
辺BCの長さは何cmですか。



平行四辺形の面積を求める公式は…。

$\text{底辺} \times \text{高さ}$

辺BCの長さがわからない。  
（つとてほほ！）



わからない数量があるとき、数量の関係を式に表す方法を考えよう。

○① 辺BCの長さを $x\text{ cm}$ として、数量の関係をかけ算の式に表しましょう。

$$\text{式} \rightarrow x \times 8 = 32$$

○②  $x$ にあてはまる数を求めましょう。



$$\begin{aligned} x \times 8 &= 32 \\ 2 \times 8 &= 16 \\ 3 \times 8 &= 24 \\ &\vdots \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} x \times 8 &= 32 \\ x &= 32 \div 8 \end{aligned}$$



答え  $4\text{ cm}$

$$\begin{aligned} \square \times 8 &= 32 \text{ のときは} \\ \square &= 32 \div 8 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \square &= 4 \\ &\text{↑ ここが } x \text{ に変わっただけ！} \\ (\quad x \times 8 = 32 \quad) \\ &x = 32 \div 8 \end{aligned}$$

まとめ

わからない数量を、 $x$ などの文字を使って表せば、数量の関係を式に表すことができる。

○④ 時速何kmで走る自動車が、3時間で120km走りました。

この自動車の時速は何kmですか。

$$x \times 3 = 120$$

$$x = 120 \div 3$$

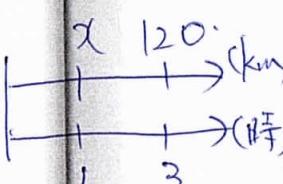
$$x = 40$$

A. 時速40km

自動車の時速を $x\text{ km}$ として、数量の関係をかけ算の式に表してみよう。

図に表してもいいね。

速さ  
273ページ①



分数 $\frac{b}{a}$ で分母と分子を、0でない同じ数 $c$ でわっても、分数の大きさは変わらないという性質もあったね。文字を使って表すと、 $\frac{b}{a} = \dots$

これはわり算の性質と似ていますね。  
 $10 \div 5 = 2$   
 $(10 \times 2) \div (5 \times 2) = 2$   
 $20 \div 10 = 2$   
やはり数を同じ数で割ることも答えるべきではない。



## いろいろな数があてはまる文字

これまでに学習した計算のきまりも、 $a$ ,  $b$ ,  $c$ などの文字を使って表すことがあります。

(○, □, △)  
などです。

$$\blacksquare \times \bullet = \bullet \times \blacksquare$$

$$(a \times b) \times c = a \times (b \times c)$$

$$\overbrace{(a+b)}^{(a+b)\times c} \times c = a \times c + b \times c$$

$$\overbrace{(a-b)}^{(a-b)\times c} \times c = a \times c - b \times c$$

$$\begin{array}{c} \blacksquare \times \bullet = \bullet \times \blacksquare \\ \downarrow \\ a \times b = b \times a \end{array}$$



$a$ ,  $b$ ,  $c$ に数をあてはめて、等号が成り立つことを確かめよう。同じ文字には同じ数が入るよ。

ほかにも、例えば次のようなときにも、文字を使って表すことがあります。

### わり算と分数の関係

$$a \div b = \frac{a}{b}$$



$$5 \div 4 = \frac{5}{4}, 4 \div 5 = \frac{4}{5}$$

( $a$ には整数、 $b$ には0でない整数が入ります)

なぜどうして分母が0ではないんだ？

### 分数の性質

$$\frac{b}{a} = \frac{b \times c}{a \times c}$$

$$\frac{2}{3} = \frac{2 \times 5}{3 \times 5} = \frac{10}{15}$$

分母と分子に同じ数をかけても、分数の大きさは変わらないという性質だね。



これはわり算の性質と似ていますね。

$$\begin{aligned} 10 \div 5 &= 2 \\ (10 \times 2) \div (5 \times 2) &= 2 \\ 20 \div 10 &= 2 \end{aligned}$$

## たしかめよう



1 次の場面を式に表しましょう。

- ① 1.2Lのお茶を $x$ L飲んだときの残りの量  $1.2 - x$   
 この文には $x$ と $y$ が入る。  
 エックス
- ②  $x$ mのテープを5人で等分しました。  
 一人分は $\frac{y}{5}$ mです。  $x \div 5 = y$

◆文字を使った  
数量やその関係の  
表し方がわかる  
かな?

① 25ページ 1  
② 27ページ 2



2 数量の関係が次の①~③の式で表される場面を、

- 下の⑦~⑩から選んで、記号で答えましょう。  
 ①  $24+x=y$  ②  $24-x=y$  ③  $24 \times x=y$  ①

⑦ 24ページの本があって、 $x$ ページ読みました。残りは $y$ ページです。⑧ 1箱24枚入りのクッキーが $x$ 箱あります。クッキーは全部で $y$ 枚です。⑨ 子どもが24人、大人が $x$ 人います。全部で $y$ 人います。

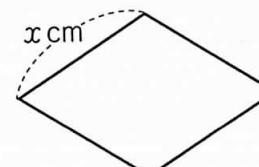
◆式の表している  
場面がわかる  
かな?

29ページ 3



3 下のひし形のまわりの長さは28cmです。

- ① 1辺の長さを $x$ cmとして、数量の関係を  $x \times 4=28$  ひし形  
274ページ ⑥



◆わからない数を  
文字を使って  
式に表したり、  
その数を求めたり  
することができる  
かな?

30ページ 4

この文には $x$ と $y$ が入る。



「数量やその関係を式に表そう」の学習をふり返ってみんなで

話し合ってみよう。

いろいろと変わる数や  
わからない数を、  
 $x$ などの文字を使って  
式に表せるようになった。□や○のかわりに $x$ や $y$ を使う  
こと以外は、これまでの学習と  
同じだった。これからは、  
文字を使いつきたい。

チャレンジ  
→258ページ

## おぼえているかな?

答え→268ページ

1 計算をしましょう。わり算は、わりきれるまでしましょう。

- |                             |                           |                      |
|-----------------------------|---------------------------|----------------------|
| ① $7.53 + 2.47$ 10          | ② $1.3 - 0.39$ 0.91       | ③ $9 - 2.87$ 6.13    |
| ④ $7.3 \times 6.8$ 49.64    | ⑤ $2.56 \times 2.4$ 6.144 | ⑥ $8 \times 0.25$ 2  |
| ⑦ $6.97 \div 3.4$ 2.05      | ⑧ $13.4 \div 5.36$ 2.5    | ⑨ $30.4 \div 0.8$ 38 |
| ⑩ $9.8 + 4 \times 2.5$ 19.8 |                           |                      |

小数のかけ算の筆算  
小数のわり算の筆算  
273ページ⑦⑨

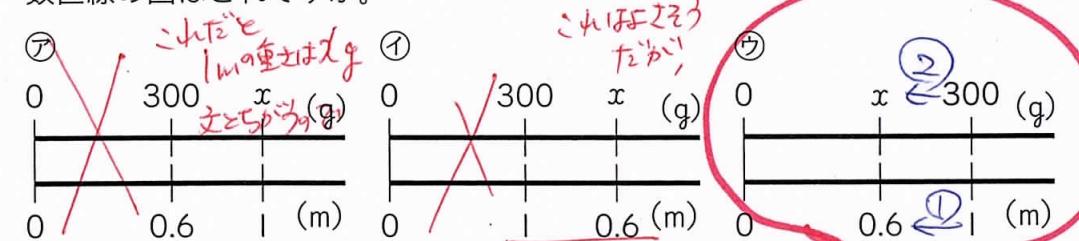
2 □にあてはまる数を書きましょう。

- |  |   |
|--|---|
| ① $\frac{3}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の 3 こ分 | ② $1\frac{1}{4}$ は $\frac{1}{4}$ の 5 こ分 |
| ③ $\frac{7}{9} = 7 \div 9$             | ④ $11 \div 8 = \frac{11}{8}$            |

3

1mの重さが300gのホースがあります。このホース0.6mの重さを  
求めます。

- ① 0.6mの重さを $x$ gとすると、数量の関係を正しく表している  
数直線の図はどれですか。



- ② 式を書いて、答えを求めましょう。

## ふしぎな計算

⑦と①の式を計算して、答えを比べてみよう。

- |  |  |  |
|--|--|--|
| ① { ⑦ $12 \times 63$ 756<br>① $36 \times 21$ 756 } | ② { ⑦ $23 \times 64$ 1472<br>① $46 \times 32$ 1472 } | ③ { ⑦ $4.8 \times 4.2$ 20.16<br>① $2.4 \times 8.4$ 20.16 } |
|--|--|--|

①がすぐわかる。

①は $x \times 0.6$ 。②も $x \times 0.6$ 。

$$300 \times 0.6 = 180$$

お不思議

⑦と①は、  
数字が逆に  
並んでいるよ。

$$\begin{array}{r} 12 \times 63 \\ \hline 36 \times 21 \end{array}$$

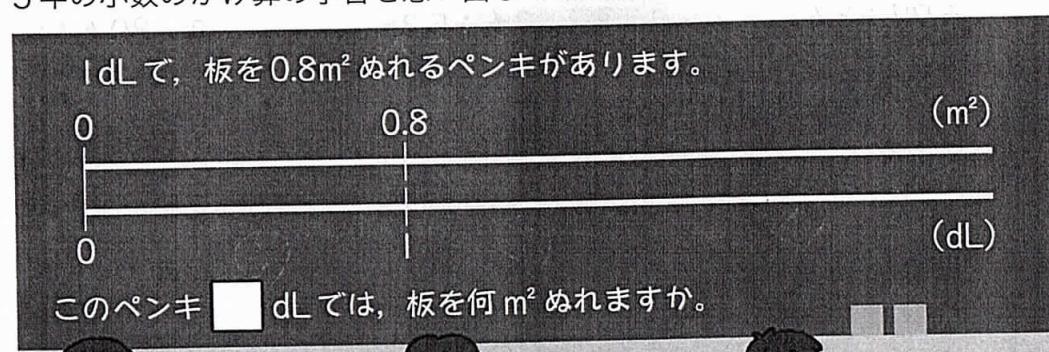
かけられる数と  
かける数の  
同じ位の数の積は…。



# 小数のかけ算をふり返ろう

5年的小数のかけ算の学習を思い出してみよう。

1dLで、板を $0.8\text{m}^2$ ぬれるペンキがあります。



1dLより少ないときも、かけ算で求められたね。

かける数		
整数	小数	分数
かけられる数		
整数		
小数		
分数		

これまでに学習した計算に○をつけよう。

数直線において、  
① 1はスーパースター。  
「1」は $\begin{cases} 0.6 \text{なら } \times 0.6 \\ 2 \text{なら } \times 2 \\ 2.4 \text{なら } \times 2.4 \end{cases}$   
何倍かわすかで  
分かる。

すると、上も同じ倍

にならって  
 $0.8 \times 0.6$

$0.8 \times 0.6$   
などと  
わざわざ

上の問題や表を見て、まだ学習していない計算について話し合ってみよう。

分数のかけ算はまだ…。



1dLでぬれる面積やペンキの量が分数で表されているときは…。

## 分数のかけ算

3

# 分数のかけ算を考えよう

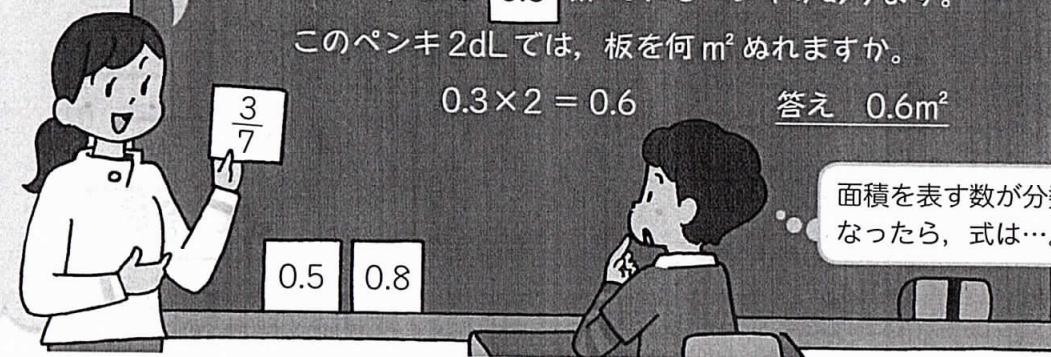
カードを  $\frac{3}{7}$  に  
変えます。

1dLで、板を  $0.3\text{m}^2$  ぬれるペンキがあります。

このペンキ 2dLでは、板を何  $\text{m}^2$  ぬれますか。

$$0.3 \times 2 = 0.6 \quad \text{答え } 0.6\text{m}^2$$

面積を表す数が分数になつたら、式は…。



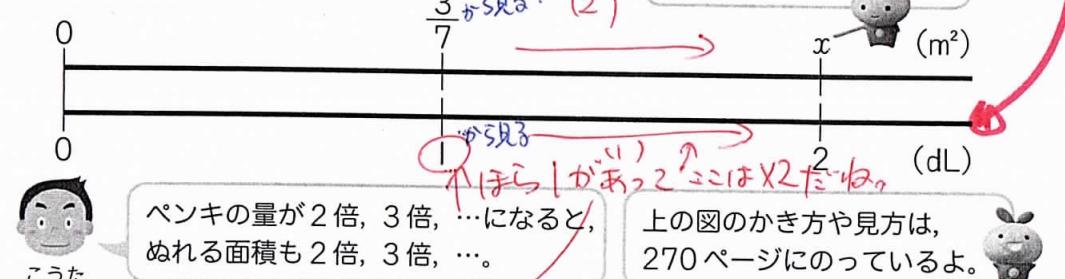
## 1 分数のかけ算とわり算

1 1dLで、板を  $\frac{3}{7}\text{m}^2$  ぬれるペンキがあります。  
このペンキ 2dLでは、板を何  $\text{m}^2$  ぬれますか。

この文章を  
数直線上に  
みる

1 どんな式を書けばよいでしょうか。

これからは、□などの  
かわりにxなどの文字を  
使っていこう。



こうた  
ペンキの量が2倍、3倍、…になると、  
ぬれる面積も2倍、3倍、…。

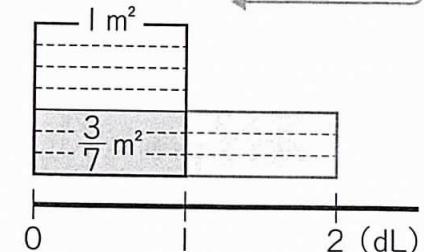
上の図のかき方や見方は、  
270ページにのっているよ。

式  $\rightarrow \frac{3}{7} \times 2$

となるね！

比例  
273ページ③

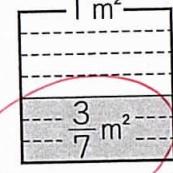
分数に整数をかける計算のしかたを考えよう。



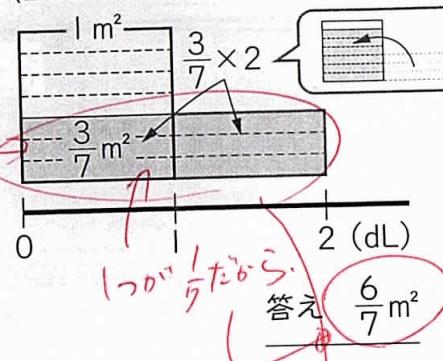
○② 2人の考え方を説明しましょう。



あみ  
(1 dLでぬれる面積)



(2 dLでぬれる面積)



はると  
 $\frac{3}{7}$ は、 $\frac{1}{7}$ の3こ分  
だから、 $\frac{3}{7} \times 2$ は、 $\frac{1}{7}$ の  
(3×2)こ分になる。

答え  $\frac{6}{7} m^2$

$$\begin{aligned}\frac{3}{7} \times 2 &= \frac{3 \times 2}{7} \\ &= \frac{6}{7} \quad \text{答え } \frac{6}{7} m^2\end{aligned}$$

分数のまとめて  
考えています。

$\frac{1}{7}$ が3こあるから  
 $\frac{1}{7}$ が6こある

○③  $\frac{4}{9} \times 2$ の計算のしかたを、はるとさんのしかたで説明しましょう。

$\frac{4}{9}$ は  $\frac{1}{9}$ が4つ。  $\frac{4}{9} \times 2$ は  $\frac{1}{9}$ の(4×2)と等しい。



まとめ

分数に整数をかける計算は、  
分母はそのままにして、  
分子にその整数をかける。  
もとはいじらない。  
ということですね!

$\frac{1}{7}$ や $\frac{1}{9}$ の何こ分で考えたね。

- 1 ①  $\frac{2}{7} \times 3$   $\frac{6}{7}$  ②  $\frac{3}{13} \times 4$   $\frac{12}{13}$  ③  $\frac{5}{2} \times 3$   $\frac{15}{2}$  ④  $\frac{1}{7} \times 5$   $\frac{5}{7}$

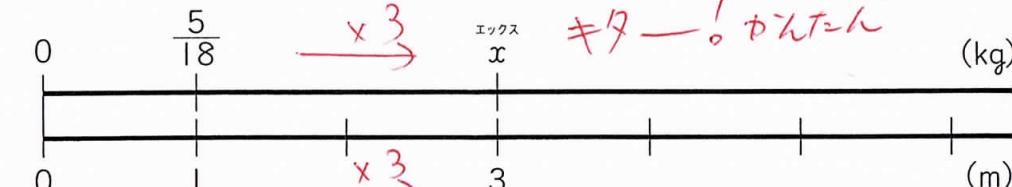
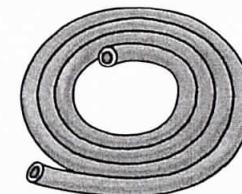
みさき



もとにする大きさの何こ分の考えが、今日も使えたね。

2

1 mの重さが  $\frac{5}{18}$  kg のホースがあります。  
このホース 3 m の重さは何 kg ですか。



式  $\rightarrow \frac{5}{18} \times 3 = ?$   
計算のしかたを考えよう。



ふうほう  
 $\frac{15}{18}$ だけど……  
 $\frac{3}{7} \times 2$ の計算のしかたと  
どこがちがうかな。

○① 2人の考え方を説明しましょう。



はると

$$\begin{aligned}\frac{5}{18} \times 3 &= \frac{5 \times 3}{18} \\ &= \frac{15}{18} \\ &= \frac{5}{6}\end{aligned}$$

約分  
273ページ⑧



みさき

$$\begin{aligned}\frac{5}{18} \times 3 &= \frac{5}{18} \times 3 \\ &= \frac{5}{6}\end{aligned}$$

答え  $\frac{5}{6} kg$

そついた!  
これがわかった!



まとめ

計算のとちゅうで約分できるときは、約分してから計算すると簡単になる。「みさき、エンのやり方がまちがえが少ないのでオススメ!」

2

- ①  $\frac{2}{9} \times 3$   $\frac{2}{3}$  ②  $\frac{7}{6} \times 3$   $\frac{7}{2}(3\frac{1}{2})$  ③  $\frac{1}{8} \times 6$   $\frac{3}{4}$  ④  $\frac{7}{12} \times 8$   $\frac{14}{3}(4\frac{2}{3})$   
⑤  $\frac{3}{8} \times 18$  ⑥  $\frac{5}{7} \times 7$  ⑦  $\frac{6}{5} \times 15$  ⑧  $\frac{3}{25} \times 100$  12.

$\frac{27}{4}(6\frac{3}{4})$

5

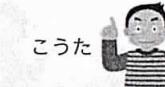
18

ほじゅうのもんたい  
→247ページ力

3

2の問題のホース 6 m, 9 m の重さは、それぞれ何 kg ですか。

$$\begin{aligned}\frac{5}{18} \times 6 &= \frac{5}{3} \\ &A, \frac{5}{3} kg\end{aligned}$$



こうた 分数を整数でわる計算もできるようになりたいな。

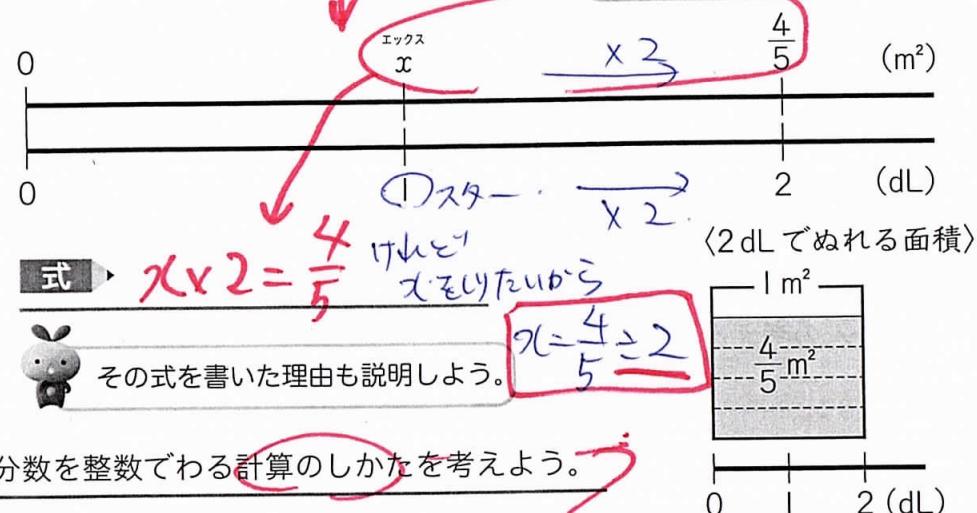
# よく見てよ!!

3

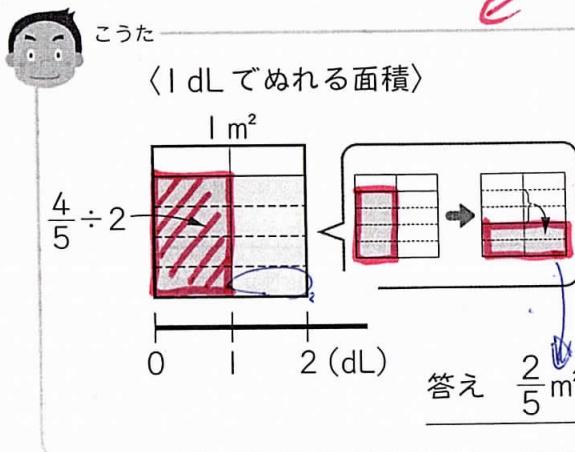
2dLで、板を  $\frac{4}{5} \text{m}^2$  ぬれるペンキがあります。  
このペンキ 1dLでは、板を何  $\text{m}^2$  ぬれますか。

① どんな式を書けばよいでしょうか。

下の図のかき方や見方は、  
271ページにのっているよ。



② 2人の考え方を説明しましょう。



$\frac{1}{5}$  の何こ分で考えるといいね。

かけ算のときは、分子に整数をかけたから、  
わり算のときは、分子を整数でわればいいんだね。

あみ  $\frac{4}{5} \div 2$  は、 $\frac{4}{5}$  の  $\frac{1}{2}$  の大きさだね。

りく 分子がわる数でわりきれないときは、どうするのかな。

# あらやー これは困る……

4

$\frac{4}{5} \div 3$  の計算のしかたを説明しましょう。



4 ÷ 3 は  
わりきれない。

**大問題だ!!**  $\frac{4}{5}$  を、分子が3でわれる  
分数で表せないかな。



分子がわる数でわりきれないときの計算のしかたを考えよう。

$$\frac{4}{5} = \frac{8}{10} = \frac{12}{15}$$

$$\downarrow \quad \downarrow$$

$$\frac{4 \times 2}{5 \times 2} \quad \frac{4 \times 3}{5 \times 3}$$

分母と分子に同じ数をかけても、  
分数の大きさは変わらないね。



P31にあった!!

$$\frac{4}{5} \div 3 = \frac{4 \times 3}{5 \times 3} \div 3 = \frac{12}{15} \div 3 = \frac{4}{5} \times \frac{1}{3} = \frac{4}{15}$$

$$\frac{4}{5} \div 3 = \frac{4 \times 3}{5 \times 3} \div 3 = \frac{12}{15} \div 3 = \frac{4}{15}$$

① ③で学習した  $\frac{4}{5} \div 2$  の計算を、  
みさきさんの考えで計算して  
みましょう。

$$\frac{4}{5} \div 2 = \frac{4 \times \square}{5 \times \square} \div 2 \Rightarrow \frac{4 \times 2}{5 \times 2} \div 2 = \frac{8}{10} \div 2 = \frac{4}{5}$$



まとめ

分数を整数でわる計算は、  
分子はそのままにして、  
分母にその整数をかける。

$$\frac{b}{a} \div c = \frac{b}{a \times c}$$

ここにこういう  
やり方が書いてあるけど  
どうしてこれでいいの  
説明できたらいい

分数の性質を使ったら、いつでも  
計算できるしかたをまとめられたね。

学校で  
かくにん  
しよう。

今までには  
少しおこ  
解けた。

- 4 ①  $\frac{2}{5} \div 3 \frac{2}{15}$  ②  $\frac{3}{4} \div 7 \frac{3}{28}$  ③  $\frac{6}{7} \div 3 \frac{2}{7}$  ④  $\frac{6}{5} \div 5 \frac{6}{25}$   
 ⑤  $\frac{8}{9} \div 6 \frac{4}{27}$  ⑥  $\frac{24}{25} \div 16 \frac{3}{50}$  ⑦  $\frac{12}{11} \div 8 \frac{3}{22}$  ⑧  $\frac{25}{3} \div 100 \frac{1}{12}$

ほじゅうのものだ  
→247ページキ

しほ わり算なのに、かけ算で  
計算するのがおもしろいね。

## 2 練習

1 計算をしましょう。

$$\begin{array}{llll} \textcircled{1} \quad \frac{1}{5} \times 2 = \frac{2}{5} & \textcircled{2} \quad \frac{3}{7} \times 8 = \frac{24}{7} (3\frac{3}{7}) & \textcircled{3} \quad \frac{5}{4} \times 6 = \frac{15}{2} (7\frac{1}{2}) & \textcircled{4} \quad \frac{7}{8} \times 8 = 7 \\ \textcircled{5} \quad \frac{11}{20} \times 15 = \frac{33}{4} (8\frac{1}{4}) & \textcircled{6} \quad \frac{17}{7} \times 14 = 34 & \textcircled{7} \quad \frac{2}{3} \div 2 = \frac{1}{3} & \textcircled{8} \quad \frac{7}{9} \div 9 = \frac{7}{81} \\ \textcircled{9} \quad \frac{16}{5} \div 7 = \frac{16}{35} & \textcircled{10} \quad \frac{4}{7} \div 8 = \frac{1}{14} & \textcircled{11} \quad \frac{100}{11} \div 25 = \frac{4}{11} & \textcircled{12} \quad \frac{18}{5} \div 12 = \frac{3}{10} \end{array}$$

2 3kgの米をたくのに、 $\frac{9}{2}$ Lの水を使います。

① 1kgの米をたくには、何Lの水が必要ですか。

$$x \times 3 = \frac{9}{2} \quad \text{② } x = \frac{9}{2} \div 3 = \frac{3}{2} (\frac{3}{2} \text{ L})$$

② 6kgの米をたくには、何Lの水が必要ですか。

$$\text{③ } \frac{3}{2} \times 2 = 9 \quad 9 \text{ L.}$$

3 右の⑦、⑧の□に、それぞれ  
2~9の数を入れて、いろいろな  
式をつくります。

次の問題に答えましょう。

① ⑦の式で、積が整数になる数を全部いいましょう。4, 8

② ⑦の式で、積が整数になる数は、どんな数といえますか。4の倍数。

③ ⑧の式で、商が整数になる数はありますか。ない。

じゅんび

4 1dLで、板を $\frac{4}{5} \text{ m}^2$ ぬれるペンキがあります。

このペンキ  $x \text{ dL}$  でぬれる面積を  $y \text{ m}^2$  と  
すると、 $y$  は  $x$  に比例していますか。(いいえ)

比例  
273ページ③

表に○を書いて  
調べよう。

使うペンキの量 $x(\text{dL})$	1	2	3	4	5	6	7	8
ぬれる面積 $y(\text{m}^2)$	$\frac{4}{5}$	$\frac{8}{5}$	$\frac{12}{5}$	$\frac{16}{5}$	4	$\frac{24}{5}$	$\frac{28}{5}$	$\frac{32}{5}$

$\sqrt{5}$   $\times 5$   $\times 8$  となるから。

## 3 分数のかけ算

カードを  $\frac{2}{3}$  に  
変えます。

1dLで、板を $\frac{4}{5} \text{ m}^2$ ぬれるペンキがあります。

このペンキ  $\frac{2}{3} \text{ dL}$  では、板を何  $\text{m}^2$  ぬれますか。

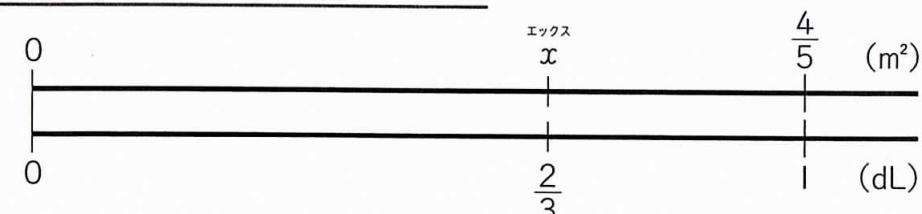
$$\frac{4}{5} \times 2 = \frac{8}{5} \quad \text{答え } \frac{8}{5} \text{ m}^2$$

使うペンキの  
量が分数に  
なると式は…。

1 1dLで、板を $\frac{4}{5} \text{ m}^2$ ぬれるペンキがあります。

このペンキ  $\frac{2}{3} \text{ dL}$  では、板を何  $\text{m}^2$  ぬれますか。

どんな式を書けばよいか考えよう。

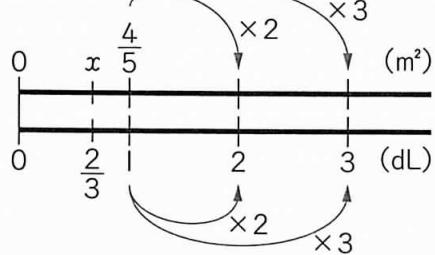


ぬれる面積は、使う量に  
比例するから…。

式



使うペンキの量が  
整数だったら…。



1 その式を書いた理由を説明しましょう。